



「小さな成功体験を大切に」

「できた!」「わかった!」教室のあちらこちらで子どもたちの歓声が聞こえます。授業が理解できた時、頑張ったことが出来た時、子どもたちは本当にいい顔をしています。

大人は大きな成功体験を期待しがちですが、日々の小さな成功体験こそが子どもの成長にとっては大切です。

自信を高めるには小さな「できた!」「やれた!」を増やすことにあります。

「できた」を積み重ねることで自信がつかます。

自信は「もっと上手にできるようになろう」「もう少し工夫しよう」「こんなことに挑戦してみよう」につながるのです。

赤ちゃんが寝がえりをうち、ハイハイできるようになり、つかまり立ちから、一人歩き。食事がとれるようになり、自分のことは自分でできるようになる…。

子どもたちに出来ることが増え、そのたびに家族に幸せをもたらしてくれました。

わからないことがわかる喜び、できなかったことができるようになる喜び。

自分の思いをきちんと相手に伝えることができる喜び。

それを受け入れてもらえる喜び。

そして、誰かを思いやる心が育っていく…。

日々、成長の証です。

日々の感動を大切に、小さな成功体験を積み重ねていくことは子どもたちの成長につながります。学校はそれを大切にしたいと思えます。

そして、私も小さな成功体験を子どもとともに喜び続けられる人でありたいです。

校長 曾我部大地

6年生ありがとう集会 (3月4日)





教育目標 「豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成」

校訓 「未来をひらこう」

児童像 「考える子」「やさしい子」「がんばる子」

< 金栄小学校HP <http://kinei-e.esnet.ed.jp> >

「6年生ありがとう集会」が、全校集まって体育館で行われました。各学年からお世話になった6年生に、手作りのプレゼントを贈ったり、ゲームで挑戦したり、6年生に関係した劇を披露したりしました。どの出し物も大いに盛り上がりました。優しく温かい空気が体育館いっぱい広がったとてもすてきな集会でした。

< 児童の感想 >

- ・6年生がうたっているところがかっこいいなっておもいました。もみもみしてたのしそくにわってくれたり、おわったとき「ありがとう」といってくれたりしたから、6年生もじぶんもうれしくなりました。(1年)
- ・「中学生になっても、体をたくさんうごかして、やさしくて、べんきょうをがんばって、きゅう食をたくさん食べてね。」と思いながら、金栄レンジャーのげきをしました。6年生にはっきり聞こえるようにがんばりました。(2年)
- ・ありがとうの気持ちときんちょうの気持ちがありました。さいしょはきんちょうの気持ちが強かったけれど、後からありがとうの気持ちが強くなりました。来年はどんなことをするかわからないけど、一生けん命やります。(3年)
- ・今日のありがとう集会で、6年生にかんしゃの気持ちを伝えられました。6年生は学校のリーダーとしてみんなをささえてくれました。6年生が学校のリーダーとしてがんばるすがたを見て、わたしもあんな6年生になりたいなと思いました。(4年)
- ・ぼくは6年生のエピソードをげきにした出し物をしました。その中で、ぼくはもぐらの役をしました。練習の最初の方は少しはずかしいなという気持ちがあったけど、どうせやるならはずかしがらずにやろう、体育館にいるみんなを盛り上げようと思い、全力でげきをしました。全力でできたので、楽しかったです。6年生が笑ってくれたのでうれしかったです。(5年)
- ・ありがとう集会をして、6年間がんばってきてよかったと思いました。1～5年生のみんなが一生けん命に自分たちのために練習してくれたということが伝わってくる集会でした。いろいろあったけど、全部楽しかったなと思いました。卒業まで後少しだけど、最後まで学校のためにがんばろうと思いました。5年生をはじめ全校のみなさん、本当にありがとうございました。(6年)

令和7年度も残りわずかとなりました。学校では、読書活動や話す・聞く活動の推進、体験活動の充実を重点目標に掲げ、取り組んできました。少しずつですが、様々な場面でその成果が上がってきているのではないかと感じています。保護者の皆様、地域の皆様、学校教育へのご理解・ご協力本当にありがとうございました。